

学校法人白百合学園との 『地域のスポーツ・文化振興に関する包括的連携協定』 締結について

2022年2月22日

株式会社マイナビフットボールクラブ

代表取締役社長 栗井 俊介



2018年1月
ベガルタ仙台と学校法人白百合学園
との間で連携協力協定を締結



2018年5月
連携協定に基づき、仙台白百合学
園小学校の校庭に人工芝グラウンド・
夜間照明を新設
※当時のレディースチームのトップスポ
ンサーであったマイナビが資金支援

白百合学園さまとの連携 これまでの流れ



2014年4月
(現)マイナビ仙台レディースジュニアユースが発足



2019年4月
(現)マイナビ仙台レディースユースが発足



仙台白百合学園小学校グラウンド
をユース・ジュニアユースの普段の練習場所として使用

マイナビ仙台レディース アカデミー生は宮城県を中心に、東北各県や北関東からも入団

| ユース | | ジュニアユース | |
|-----|----|---------|----|
| 仙台市 | 8 | 仙台市 | 15 |
| 宮城県 | 4 | 宮城県 | 5 |
| 青森県 | 1 | 青森県 | 1 |
| 福島県 | 4 | 山形県 | 1 |
| 群馬県 | 3 | 福島県 | 1 |
| 栃木県 | 3 | 岩手県 | 3 |
| 東京都 | 1 | 群馬県 | 2 |
| 埼玉県 | 2 | 富山県 | 1 |
| | | 北海道 | 1 |
| | | 東京都 | 1 |
| 総計 | 26 | 総計 | 31 |



他県から入団選手の多くは仙台白百合学園
中学校・高等学校の寮生として学んでいる

仙台白百合学園（中・高）在籍生比率

■ユース

17名 / 26名 65%

■ジュニアユース

11名 / 31名 35%



ユースは創設3年目にして全国大会で成果
2021年8月 第3回日本クラブユース女子サッカー大会(U-18)準優勝！



MF 36.
いのせ ゆうこ
猪瀬 結子選手



2019年にはインドネシアで開催された
AFC U-16女子選手権タイ2019で優勝に貢献



2021年10月27日
仙台白百合学園ホール
にて記者会見を行いました。

連携協定の目的（第1条より要約）

本連携協定は、双方の人材、施設、知的資源の積極的な連携活用によって地域のスポーツ・文化の振興を図り、さらに学校法人白百合学園が女子教育、マイナビ仙台レディースが女子プロスポーツにそれぞれ携わる立場を生かし、ともに協力して地域から女性活躍社会の実現に貢献することを目的とします。

連携協力事項

1. 女子教育の充実を図るための諸施策
2. 女子サッカーを中心とするスポーツの普及、地域のスポーツ振興および健康増進に資する活動
3. 女子サッカーの発展を担う人材の育成
4. 施設および人的資源の相互交流、相互利用
5. 女子サッカーなどについての調査研究活動への相互協力及び共同調査研究の推進
6. 地域から女性の社会進出を促進することに資する活動
7. その他、第1条の目的・理念に沿った活動

WE ACTION DAY

『共生社会づくりに向けた一歩を踏み出す"学び"DAY』

日時：2022年3月13日（日）13時00分～17時00分

場所：仙台白百合学園（レジナパチスホールおよび体育館）

トップパラアスリートとして活躍する谷真海氏の講演や当チーム選手を含めたパネルディスカッションを通じて「多様性を認め合い誰もが暮らしやすい社会 = 共生社会」とは何か、を知るとともに、ブラインドサッカーなどのパラスポーツ体験を通じて共生社会づくりに向けて必要な「違いを知り、多様性を認め合うこと」の重要性を学ぶ

<実施内容（予定）>

■第一部

・パラアスリート谷真海選手（宮城県気仙沼市出身）による 基調講演

・パネルディスカッション

谷真海選手、ブラインドサッカーチーム「コルジャ仙台」鈴木里佳選手（日本代表）、当クラブ選手2名登壇

→共生社会実現をテーマにトークセッションを実施。

■第二部

パラスポーツ体験会（ブラインドサッカー、シッティングバレー、ボッチャ体験）



仙台白百合学園生、地域住民、マイナビ仙台レディース選手と一緒に学びを深める取組み

「WE ACTION DAY」において、クラブは女性活躍推進に向けた

メッセージ発信と共に、子どもたちをはじめとする皆様にパラスポーツ体験などを提供、

多様な価値観を認め合う「共生社会」実現に向けた一歩を踏み出す場としたい